

誘導保育

第八週

おもちゃ屋つゞき

ピエロ人形(模造紙、畫用紙)

第九週

象(畫用紙)

鷺鳥(畫用紙)

刀(白ボール)

第十週

ふら〜人形(模造紙、畫用紙)

うさぎ(畫用紙)

人形の着もの(ラシヤ紙、千代紙)

第十一週

さいころ(粘土)

風車(畫用紙、模造紙)

第十二週

正札(畫用紙)

年少組第二學期であるので、一錢、五錢、十錢位の數を
目指して見る。

お金(ボール紙)

自分が求める品物の値より、澤山のお金を渡さうが少く
渡さうが、又は、お釣が来やうと来なからうと、そんな事
はさうでもないと言つた様に、實數には無關心だ。子供等
はたゞお金と言ふものを渡して、その代りに品物を貰ひ
さへすれば満足しきつてる様子に見られる。で、お店の名
のつくものには、是非お金の製作が必要になつて来る。

看板

おもちゃ屋と言ふ看板が、店頭飾られて、初めてぎつ
しりこ落ちて来て来る。看板の字は、子供の筆によつて、
又は子供等の手にて成る切紙等で現はされるのがよろしか
らう。看板の周圍の趣向なさも、幼児達の合作であつて欲

しいものである。

玩具店完成

これで漸く豫期したゞけの玩具が出来、看板もつけられて、一通りお店は完成したわけである。もつミ品物を豊富にしてお店を擴張する事も出来るし、幼稚園のその折の都合をも斟酌して適當の措置をみるのがいゝ。完成したら、四五日そのまゝ飾つて置いて、子供も先生も共に完成のよろこびを味はひその心に浸るのがいゝ。

賣り買ひ遊び

扱て、賣り買ひ遊びであるが、期待效果欄にある様に「賣り買ひ遊びに依る社會生活興味」の外に、心ひそかに「簡單なる數の計算」ミ言ふ事も附け加へて見た。併しいざ開店ミなるミ、もう嬉しくて嬉しくて、賣手も買手も足は地についてゐない。それに今は年少組第二學期であるので、以下の數の計算がよく出来ないのが大多數である。嬉しくて心も空ミ云ふ有様なミころへ、その上大勢殺到する只中で、さうしてまだあやふやな頭で、お釣の勘定等出来るものか、實際開店の賑々しい場面に直面して見れば、最初抱

いた期待「簡單なる數の計算」てふ一項は、躊躇するところもなく引つこめずに居られなくなつてしまつた。その次に年長組第三學期にこの賣り買ひ遊びを催した時であつた。小學校の入學試験も済んだ後だつたしするので、大抵の子供は十以下の數の計算が出来る時であつた。前々からその事を言ひ合めて、お金等も一錢銅貨を澤山ミ、五錢白銅も少々入れた。品物の値も、不名譽ながら皆五錢以下の正札をつけておいた。この度こそは、しつかりさやつて、「簡單なる數の計算」なる期待を徹底しやうミ試みた。併しその時になつて見るミ、あれ程言つて、よくわかつてくれるたのにミ思ふのに、そんな數の計算等はもうすっかり忘れてしまつて、はやる心のまゝに、品物目がけて殺到するのである。そして品物を貰ふ爲には、お金ミ名のつくものを渡さねば貰へないからミ云つた調子に、お金を拂ふのである。何錢のものだから幾らを仕拂ふのだミ言ふ様な考はてんで持つてゐない様だ。制限してお金を持たせたのに、お金が無くなればねだつたり、床に落ちてるのを拾つたり、果ては、ズボンのポケットに忍ばせておいた三百圓ミ言ふ

おもちやのお札を出して、品物を貰はふこ一生懸命になつて、見てゐる大人達を笑ひこけさせた事であつた。この時
もまた、見事に「簡單なる數の計算」の一項は敗退してしまつたわけだつた。あのはやる心に之を求めれば、興味を殺

唱歌遊戯

第九週

唱歌 三回

ウサギ(エホンシヤウカ)

みんなの知つてゐる兎こ龜のお話を思ひ出して歌ふ。

遊戯 三回

ウサギ(記事参照)

第十週

唱歌 二回

今までのおさらひ。一人づゝみんなの子供に歌はせる。

終りまで靜かに聴く態度を養ひたい。

遊戯 二回

いでしまふだらうし、之はこの案には期待し得ないものであらうか？、外の機會にだつて是位の數の計算の出来る機會は始終あるし、之はこの案に求めないがいゝのであらうか。

あなたのまね。(記事参照)

最初リーダーを定めるには嫌がらないでぎんぐ出来る子供を指名するこよい。最初の子供がいやこ云つたり、ぐづぐづしてゐるこ他の子供にも傳染してしまつて、いやぐ云つて出来ない事があるから。

第十一週

唱歌 二回

木の葉(童話唱歌名曲全集)

一番のチラ／＼こ二番のヒラ／＼こをよく間違つて歌ひ易いから、黒板に書いた歌詞を幾度も讀ませてはつきり覺えてから歌ふ様にする。